

【令和2年度】

のみバスの見直しに伴う 利用促進について（意見交換）



令和元年11月28日開催

能美市地域公共交通会議



のみバスの見直しと目指す姿



能美市コミュニティバス「のみバス」では、**令和2年4月**に大幅な運行見直しを実施します。今回の見直しでは、「**わかりやすさ**」や「**便利さ**」に重点を置き見直しを実施します。

能美市では、今回の見直しを機に、通勤・通学利用や市内の買い物・病院等の日常移動にこれまで以上に「のみバス」を利用いただき、「**安全に安心して住み続けられる能美づくり**」を推進し、暮らしの安心につながる公共交通の充実を実現したいと考えています。



のみバスの見直しまでのスケジュール

12月

- ・「のみバス」の見直し内容について
市民説明会(根上地区)
見直しの概要、ダイヤ、ルートを説明
- ・石川運輸支局へ運行見直し申請

1月

- ・「のみバス」の見直し内容について
市民説明会(辰口地区・寺井地区)

2月

- ・「のみバス」の見直し内容について
市民説明会(辰口地区・寺井地区)

3月

- ・広報「のみ」4月号に掲載
新ダイヤ時刻表(全戸配布)



のみバスの見直し後の運行概要①

見直しのポイント

市内を横断し運行する「連携ルート」について

～主な見直し内容と運行内容について～

朝夕 【主な利用】通勤・通学の為の移動

主な運行ルート



主な見直しのポイント

1 これまでより広い地域を走ります

連携ルートではJR能美根上駅と寺井高校を結ぶ便の他、北廻り、南廻り、特急便が運行。また、根上地区を廻る循環ルートも運行し、より多くの方が通勤・通学の移動に利用できます。

2 JR能美根上駅への接続が便利に

広い地域から、能美根上駅へ接続します。また、多くの方が能美根上駅を利用する7台に駅に着く便が多く運行し、スムーズにJRへの乗り換えが可能になります。

3 路線バスとの乗継が便利になります

金沢市や小松市方面への主な路線バスの停留所である「寺井史跡公園」や「寺井中央」、「辰口丘陵公園口」停留所にバスが通ります。路線バスへの乗り換えも可能になります。

4 速達性のある特急便が走ります

宮竹小学校前とJR能美根上駅間を40分で結ぶ特急便を朝夕に運行します。また、平日は能美根上駅を最終20時40分発の便が運行し、通勤・通学により便利に利用できます。

運行本数 (1日あたり)

	連携ルート(寺井高校)
① 平日	… 4便
② 土日祝	… 1便

	連携ルート(特急)
① 平日	… 4便 (最終20:40発)
② 土日祝	… 2便 (最終20:00発)

	連携ルート(北廻り)
① 平日	… 3便
② 土日祝	… 3便

	連携ルート(南廻り)
① 平日	… 4便
② 土日祝	… 2便

	参考:循環ルート(根上地区)
① 平日	… 2便
② 土日祝	… なし



日中 【主な利用】市内の病院・買い物等の為の移動

主な運行ルート



主な見直しのポイント

1 1時間毎に運行しわかりやすくなります

JAIST(先端大学)とJR能美根上駅間をそれぞれから毎時(1時間毎)決まった時間に出発するパターン化されたダイヤになります。運行時間がわかりやすく便利に利用できます。

2 市内主要施設へのアクセスが便利になります

新しいルートは、JR能美根上駅などの主要な交通の結節点の他、市役所、病院、余暇施設など、利用者の多い主要施設を結び運行します。市内移動の基幹路線として便利に移動ができます。

3 循環ルート、さとやまルートとの乗継が便利になります

各地区内を廻る「循環ルート」や、中山間地域を廻る「さとやまルート」の始発停留所を通り、「循環ルート」や「さとやまルート」への乗り継ぎがこれまでより便利になります。

見直し後



運行本数 (1日あたり)

	連携ルート(日中)
① 平日	… 18便
② 土日祝	… 18便

【内訳】
能美根上駅発⇒先端大行き… 9便
先端大発⇒能美根上駅行き… 9便





のみバスの見直し後の運行概要②



各地区内を運行する「循環ルート」「さとやまルート」について

～主な見直し内容と運行内容について～

日中

【主な利用】市内の病院・買い物等の為の移動

主な運行ルート



主な見直しのポイント

1 循環ルートでは平日の午前4便、午後3便で1時間毎に運行しわかりやすくなります

循環ルート(根上地区、寺井地区、辰口地区西部)では、平日のみ午前4便、午後3便で毎時(1時間毎)決まった時間に出発するパターン化されたダイヤになります。運行時間がわかりやすく便利に利用できます。

3 循環ルートのコースを全て1コースに集約しわかりやすいルートになります

これまで循環ルート(根上地区、寺井地区、辰口地区)では、2~4コースで地区内を運行していましたが、全て1コースに集約します。どの便に乗っても同じコースを走るわかりやすいルートになります。

2 中山間地域を廻る「さとやまルート」を新たに運行します

循環ルート(根上地区、寺井地区、辰口地区西部)に加え、鶴来駅から和佐谷町を経由し、中山間地域から辰口福祉社会館までを結ぶ「さとやまルート」を新たに運行します。白山市鶴来地区や、辰口地区的移動が便利になります。

4 平日に連携ルートへの乗継が30分以内となり市内移動が便利になります

平日に「循環ルート(根上地区、寺井地区、辰口地区西部)」と「さとやまルート」の主要停留所から、連携バスに30分以内に乗り継ぎが可能になります。これまでより市内移動がスムーズになり、移動が便利になります。

運行本数 (1日あたり)



» 連携ルート(根上地区)

- ① 平日・・・9便
- ② 土日祝・・・3便

【内訳】

- 平日・・・朝夕2便、日中7便
- 土日祝・・・日中3便



» 循環ルート(寺井地区)

- ① 平日・・・7便
- ② 土日祝・・・3便

【内訳】

- 平日・・・日中7便
- 土日祝・・・日中3便



» 循環ルート(辰口地区西部)

- ① 平日・・・7便
- ② 土日祝・・・3便

【内訳】

- 平日・・・日中7便
- 土日祝・・・日中3便



» さとやまルート

- ① 平日・・・5便
- ② 土日祝・・・4便

【内訳】

- 平日・・・日中5便
- 土日祝・・・日中4便





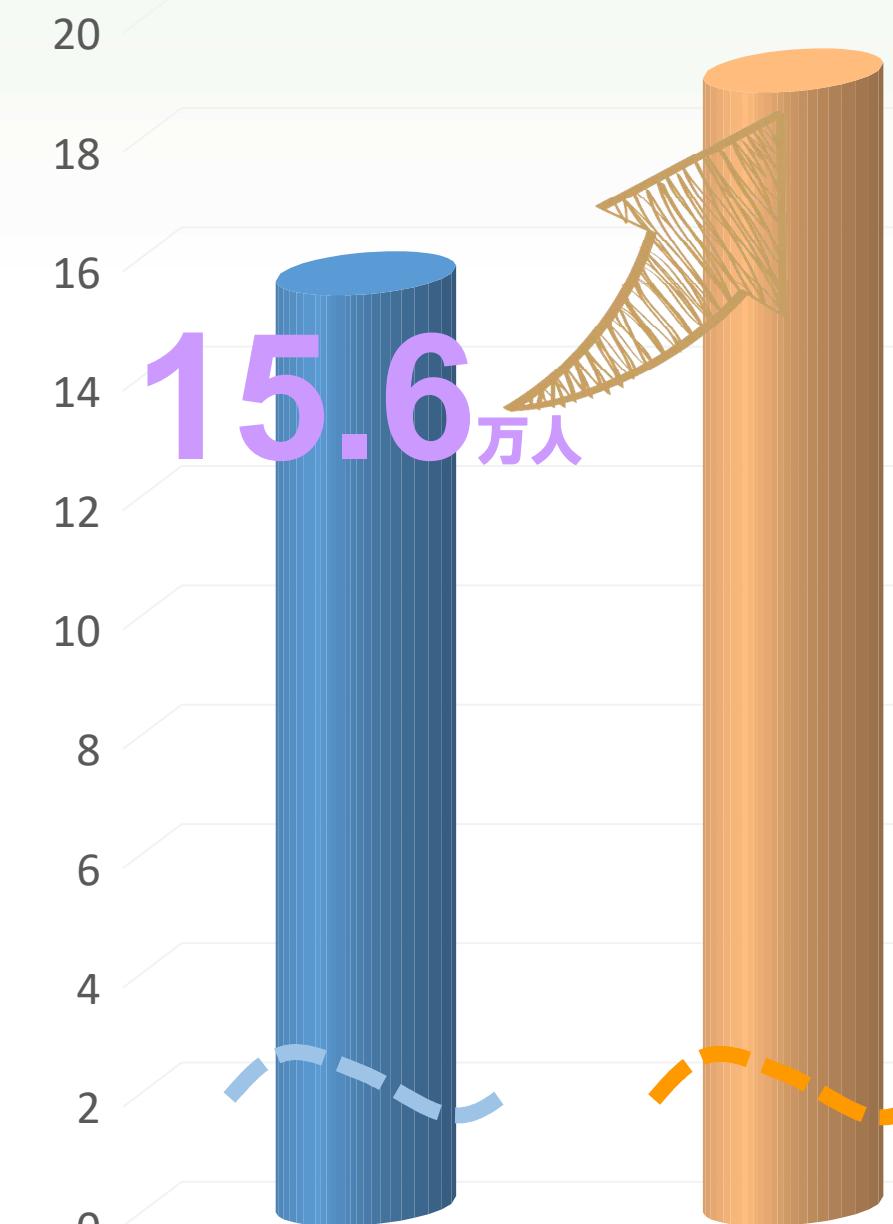
のみバスの見直し後の運行概要③

4

車両体制



年間利用



走行距離(年間)と運転手体制

現在



397,910Km

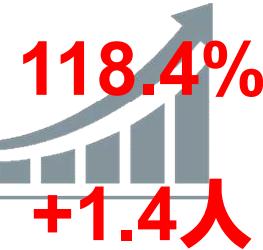
11.8人/月

R2.4/1～



471,282Km

13.2人/月





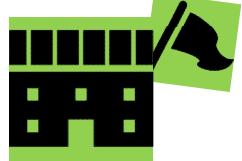
モビリティ・マネジメントの必要性



地域や都市を『過度に自動車に頼る状態』→『公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に(=かしこく)利用する状態』へと少しずつ変えていく一連の取り組みをモビリティ・マネジメントと言います。全国的に様々な実践的な取り組みや取り組みの必要性が認知されている。

能美市においても、高齢者の約7割、生産年齢世代の約8割が自家用車を常時利用。しかし、地域の公共交通を守り、地域の活性化や安心して暮らせる住環境の確保といった点から

も自家用車に過度に頼る状態から、「のみバス」をかしこく利用した移動を促す「モビリティ・マネジメント」の取り組みを進め、「移動の足の確保」を図ることは必要不可欠。



能美市のこれまでの取り組み

平成29年度



- ・高校生向け定期券販売
- ・高齢者無料乗車券配布
(利用促進月間)
- ・保育園児・保護者無料乗車券配布(利用促進月間)
- ・乗車体験会(老人クラブ)

平成30年度



- ・中学生・小学生向け 親子スタンプラリー企画(夏休み)
- ・高齢者無料乗車券配布
(利用促進月間)

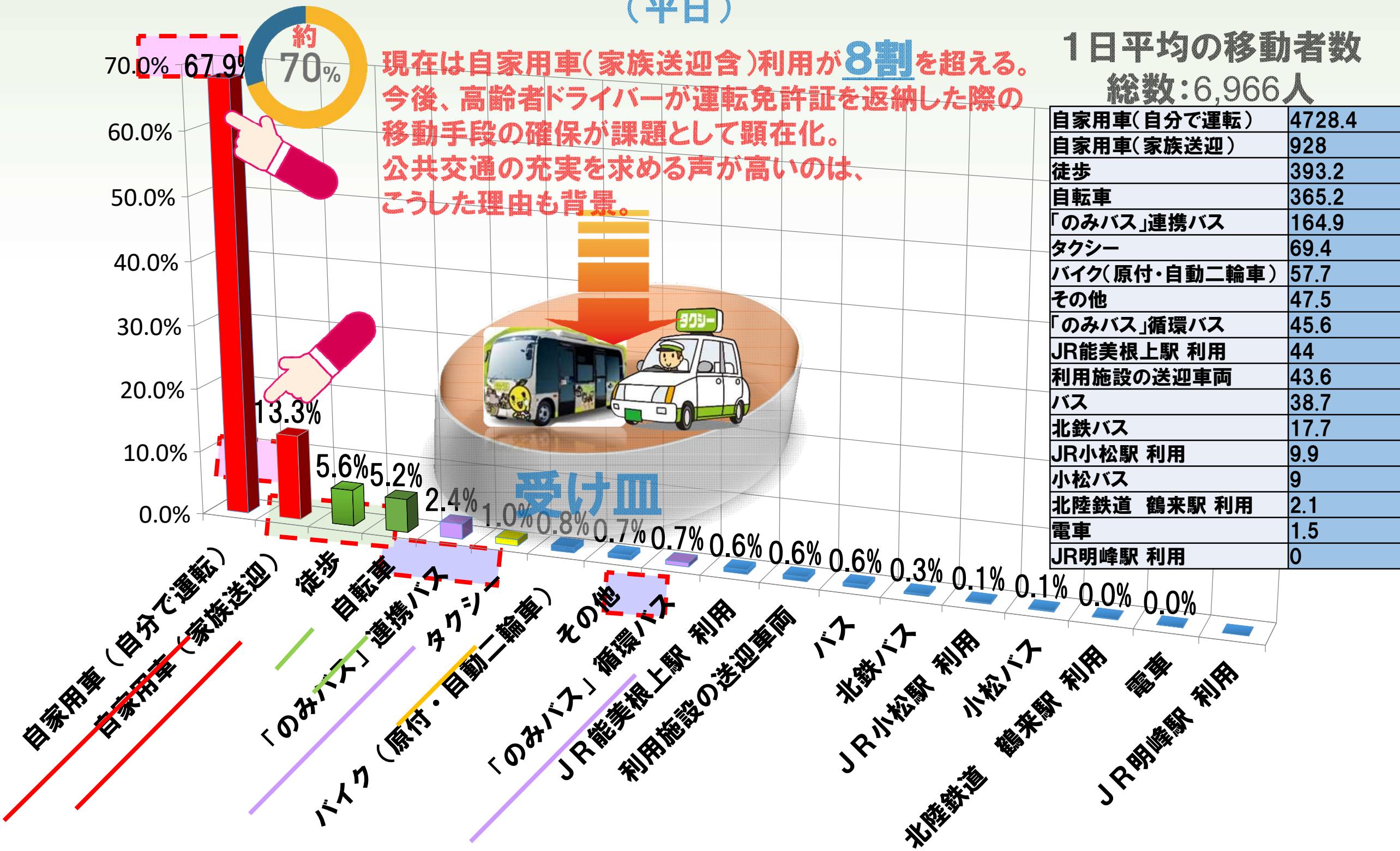
令和元年度



- ・小学生・保育園児向け 親子スタンプラリー企画(夏休み)
- ・高齢者無料乗車券配布
(利用促進月間)
- ・乗車体験会と交通安全講話
(老人クラブ)

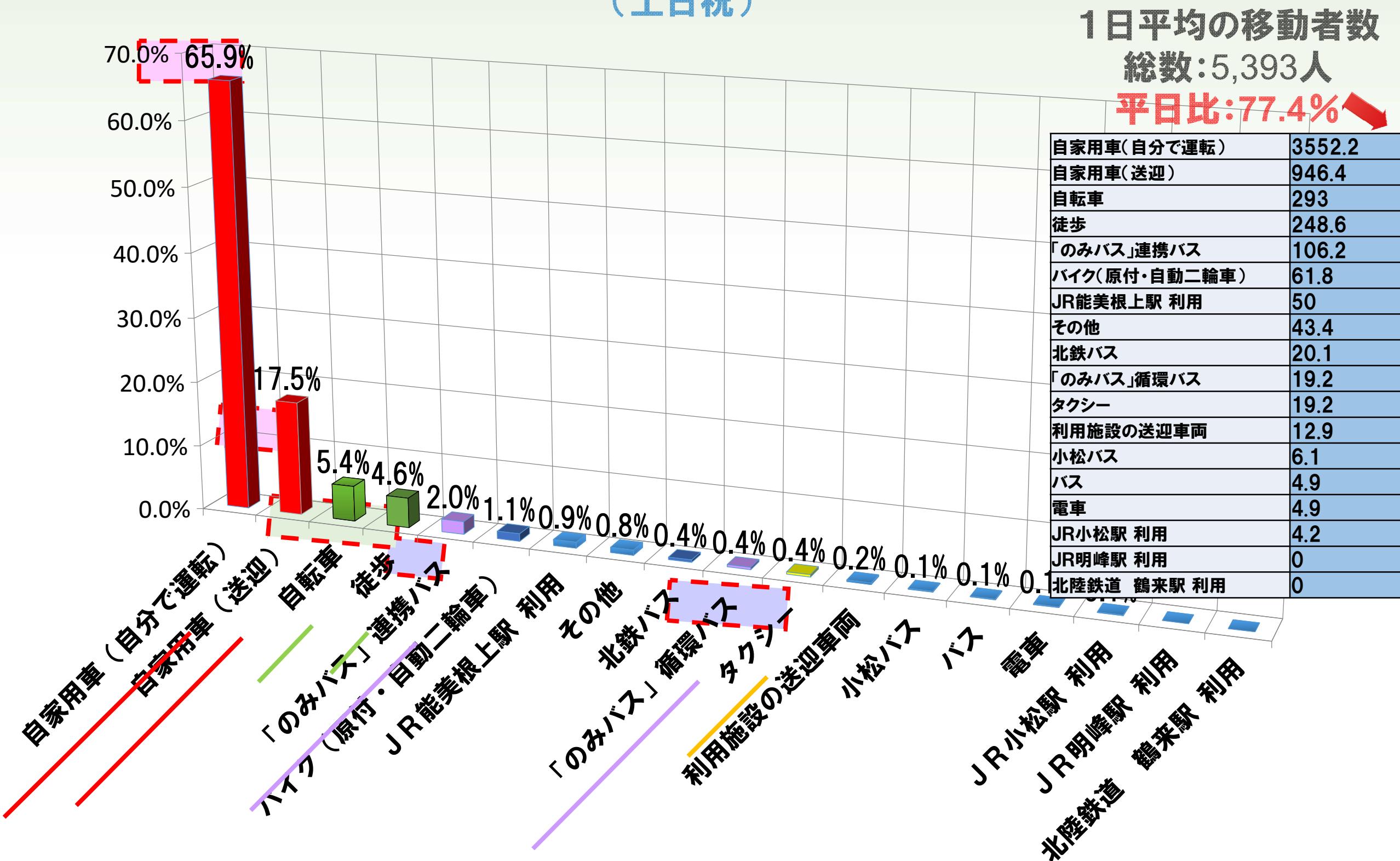
参考:高齢者の日常用途目的の外出時の移動手段

7つの目的(買物、飲食、公共施設、通院、温浴利用、余暇娯楽、観光)の外出時の移動手段 (平日)



参考:高齢者の日常用途目的の外出時の移動手段

7つの目的(買物、飲食、公共施設、通院、温浴利用、余暇娯楽、観光)の外出時の移動手段 (土日祝)



出典:平成30年度能美市実施(公共交通アンケート)より

警察署別高齢者の免許人口と自主返納状況

市町	警察署	75歳以上の免許人口(人)	75歳以上の自主返納者(人)	割合
珠洲市	珠洲署	2643	139	5.26%
能登町				
輪島市	輪島署	2802	146	5.21%
穴水町				
七尾市	七尾署	4147	208	5.02%
中能登町				
志賀町				
羽咋市	羽咋署	4195	181	4.31%
宝達志水町				
かほく市				
津幡町	津幡署	4763	244	5.12%
内灘町				
金沢市	金沢中署 金沢東署 金沢西署	1万9525	923	4.73%
野々市市	白山署	7493	360	4.80%
川北町	能美署	3041	117	3.85%
能美市				
小松市	小松署	6476	294	4.54%
加賀市	大聖寺署	4485	203	4.53%
県内	全12署	5万9570	2815	4.73%

※金沢市は3署合計(2018年12月末)



74歳「杉さま」も
歌手で俳優の杉良太郎さん(74)が7日、東京都品川区の絞洲運転免許試験場で、運転免許証を自主返納した。報道陣を前に「事故で人を死なせてしまつたら取り返しが付かない。返納を考えるきっかけになつてくれたらと思う」と話した。

「目や手の反応が違う」
明かとが傷つ返納と決断に不自らなどを人が死4頃と遙の講習70歳

県内免許返納率

昨年、75歳以上本紙調査

県内の75歳以上の返納者は昨年、過去最多の281人を数えた。今年は5月末時点でも1395人(前年同期比116人増)に上る。4月に東京・池袋で高齢者の乗用車が暴走する事故が起きたなど、全国で高齢ドライバーによる死傷事故が相次いでいることを受けて

昨年の返納率(免許保有者数に占める割合)を警察署別に見ると、珠洲署管内は5.26%、輪島署管内は5.21%と最も高く、輪島署(輪島市・穴水町)5.21%、津幡署(かほく市・津幡町)5.12%と続いた。全国的な傾向として公共交通の発達した都市部は返納率が高く、東京都は7.30%と能登地区は羽咋署管内を除き5%を上回る。返納率が高い理由について、輪島署で「シニア歩行者アドバイザー」を務める徳野美智

奥能登 全国上回る

珠洲署5.26% 輪島署5.21%

警察厅の有識者分科会は高齢ドライバーの心理を探るため、昨年6~7月、自ら返納者千人を対象にアンケートを実施。返納理由を複数回答で尋ねたところ、「体が弱ってきた」が56%で最も多く、次いで「家族からの一言」の38%、「高齢者による事故のニュースを見た」の35%の順だった。県内では昨年、75歳以上のドライバーが過失の最も重い「第1当事者」となった交通事故が5件起き、6人が犠牲となった。県警は関係機関と連携し免許返納を後押しする。

免許更新時に認知機能検査が必要となる75歳以上の

ドライバーで、石川県内では免許の自主返納の割合に地域で差があることが7日までの北國新聞社の調査で分かった。2018年の返納率は、奥能登地区の2警察署管内が全国平均(5.18%)を上回る一方、金沢以南は5%未満で、最低は能美署管内の3.85%だった。公共交通網が手薄な奥能登地区が高くなる「逆転現象」となった。

高水準。主要都市に路面電車が走る富山県は5.67%と上る。ただ石川県内では、公共交通網が整っている金沢市(金沢中、東、西署の合計)は4.73%で県平均と同値にとどまる。小松、加賀市は県平均を下回る。

①75歳以上の免許証自主返納率 県内警察署管内で最下位の3.85%

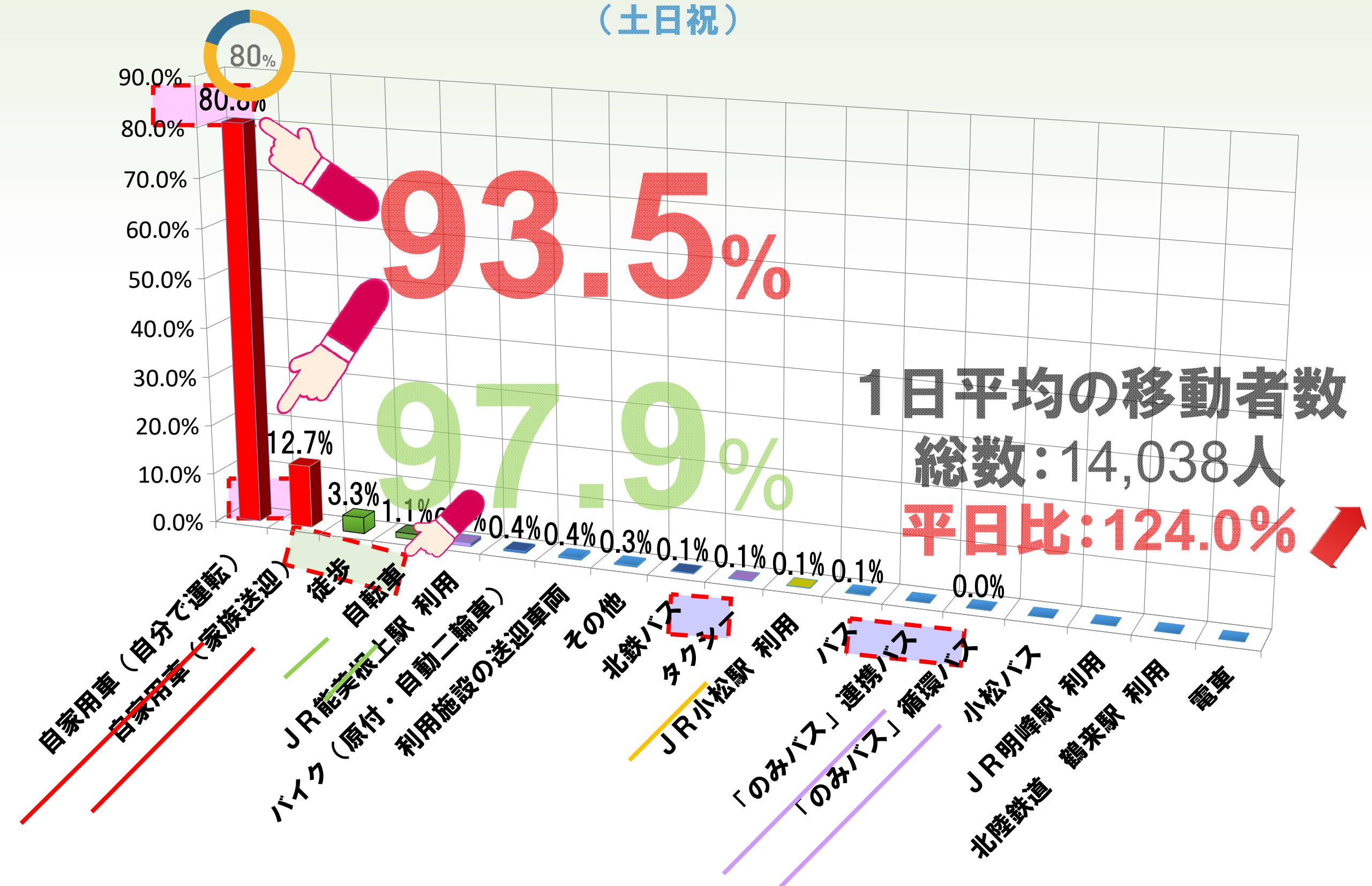
②県内平均4.73%を0.88%下回っている

※全国平均5.18%(-1.33%)

令和元年6月8日
北國新聞記事

参考:生産年齢世代の日常用途目的の外出時の移動手段

7つの目的(買物、飲食、公共施設、通院、温浴利用、余暇娯楽、観光)の外出時の移動手段
(土日祝)



出典:平成30年度能美市実施(公共交通アンケート)より



今後のモビリティ・マネジメントについて

10



みんなで支える
地域公共交通
取り組み等

安心して暮らせる
住環境の確保



1

モビリティ・マネジメントのはじめかた
国土交通省北陸信越運輸局石川運輸支局
首席運輸企画専門官 木村 幸典 様

- ・モビリティ・マネジメントとは
- ・なぜモビリティ・マネジメントが大事なのか
- ・モビリティ・マネジメントの全国事例など

2

「のみバス」の見直しに伴う利用促進に
向けた取り組みについて(意見交換)
進行:高山会長

- ・能美市で取り組むべきこと
- ・委員各位の所属で出来る取り組み
- ・市民への意識啓発に向けて出来る事
(車内放送、ポスター等)など